

4/3 津波警報

あの日あの時
あなたはどのような
行動をとりましたか？

好事例

日頃の体制・シミュレーションなどの準備をしていたため、安全で円滑な避難ができた事例をご紹介します。

州崎法人の例

(株) 沖縄計測

Q 「“その時は” どのような行動を？」

全従業員が一齐に防災バッグを持参し、徒歩避難を開始しました。

Q 「日頃の実組を教えてください」

毎年 11 月大規模避難訓練を実施し、避難ルートや連絡体制もシミュレーションしているほか、外部講師による講習も積極的に行い、日頃から危機管理意識向上を図っています。

拓南製鐵(株)

Q 「“その時は” どのような行動を？」

津波避難タワーに向かって冷静に徒歩移動するよう従業員に館内放送しました。

Q 「日頃の実組を教えてください」

毎年 2 回の津波等を想定した大規模訓練を実施しています。従業員数も多いため、混乱にならないよう冷静な対応を意識しています。また、今回の津波を教訓として、避難体制等をアップデートさせる会議を行っているところです。

自治会の例

上江洲自治会と塩屋自治会の連携

Q 「“その時は” どのような行動を？」

(上江洲自治会長) 区民の安全確保はもちろんのこと、すぐに、塩屋区民等、低地帯からの避難者を受け入れるための連絡を自治会長間で取り合いました。

Q 「日頃の実組を教えてください」

(上江洲自治会長、塩屋自治会長) 津波の際、区民だけでなく、低立地の住民の一時避難先にもなるよう自治会長間で連携を取っています。そのほか、日頃から避難から炊き出し等の運営訓練や防災勉強会を実施しています。

教訓

各地で、パニック状態になるなど不安要素もありました。一人ひとりが適切な対応を意識し、大切な命を守るため、今一度できることを振り返りましょう。

実際にあったやりとりから学べること

Q. 私は今、海中道路にいます！本島？平安座？どこに避難したらいいですか？

A. 当日、海中道路は渋滞で車が動かない状態でした。車を路肩に寄せて、今いる場所を見渡し、最寄りの高台を確認したら徒歩で避難しましょう。

Q. 私は避難したほうがいいの？わが家の海拔は何mですか？

A. 慌てないために、日頃からハザードマップで津波災害警戒区域なのを確認しておきましょう。

Q. 私は、どこに避難すればいいの？

A. ハザードマップで最寄りの避難場所等を確認し、実際に歩いて所要時間などを確認しておきましょう。また、高台にある安全な場所として、近くの親せき宅なども想定しておきましょう。

当日のやりとり

当日のやりとり

後日のやりとり